

高3 進路中間報告PART 3

付属推薦を終え、高3の推薦組の進路がほぼ確定しました。なかには、慶應義塾大学文学部や上智大学法学部の公募推薦などの難関校合格を手にした者もいます。付属推薦においては375名(78.8%)・指定校やAOなどで33名(6.9%)、合計で408名(85.7%)の生徒が大学への進学を決定しています。残りは一般組、良い結果を期待しています。今月号については、過去3年間の日大各学部学科への進学状況を下表にて紹介します。

学部	学科	H29	H28	H27	学部	学科	H29	H28	H27
法	法律(法職)	11	3	22	国際関係	国際総合政策	5	3	14
	政治経済	7	8	7		国際教養	1	5	1
	新聞	4	4	4	危機管理 スポーツ科	危機管理	6	3	4
	経営法	7	4	3		競技スポーツ	3	7	5
	公共政策	14	10	5		土木工	10	9	7
法(二部)	法律	8	4	11	交通システム工	5	5	6	
文理	哲	2	4	6	建築	6	7	7	
	史	3	0	4	海洋建築工	3	5	4	
	国文	6	7	1	まちづくり工	7	5	1	
	中国語中国文化	1	4	6	機械工	5	4	2	
	英文	6	7	2	精密機械工	8	4	5	
	ドイツ文	3	2	1	航空宇宙工	1	6	3	
	社会	5	4	5	電気工	8	12	9	
	社会福祉	0	1	1	電子工	6	2	3	
	教育	1	2	1	応用情報工	2	5	3	
	体育	4	5	1	物質応用化	13	4	5	
	心理	6	5	2	物理	2	1	3	
	地理	5	4	5	数	2	2	7	
	地球科	6	4	0	機械工	1	1	2	
	数	1	0	0	電気電子工	0	1	1	
	情報科	0	0	3	土木工	3	2	8	
	物理	0	1	0	建築工	2	3	4	
	化	1	1	1	応用分子化	0	4	0	
	生命科	2	1	3	マネジメント工	7	4	7	
	経済	経済	34	19	22	数理工	3	5	1
		経済(国際)	3	2	2	環境安全工	7	6	2
産業経営		16	24	15	創生デザイン	5	0	1	
金融公共経済		7	11	15	土木工	0	0	1	
商業		11	24	21	建築	0	0	0	
商	経営	18	11	14	機械工	0	0	0	
	会計	5	11	7	電気電子工	0	0	0	
	写真	0	0	0	生命応用化	0	0	0	
芸術	映画(表現理論)	0	3	0	情報工	0	0	1	
	映画(監督)	0	0	2	医	2	1	2	
	映画(撮影・録音)	1	0	0	歯	2	2	1	
	映画(演技)	1	1	0	松戸歯	2	2	1	
	美術(絵画)	0	1	0	生命農	5	4	1	
	美術(彫刻)	0	1	0	生命化	0	1	4	
	音楽(作曲理論)	0	0	0	獣医	1	0	2	
	音楽(音楽教育)	0	0	0	動物資源科	2	1	5	
	音楽(声楽)	0	0	0	食品ビジネス	1	2	3	
	音楽(ピアノ)	0	0	0	森林資源科	8	5	7	
	音楽(弦管打楽)	0	0	0	海洋生物資源科	4	2	2	
	音楽(情報音楽)	0	0	0	生物環境工	2	2	3	
	文芸	2	3	2	食品生命	1	1	1	
	演劇(劇作)	0	0	0	国際地域開発	7	4	6	
	演劇(演出)	0	0	0	応用生物科	3	1	3	
	演劇(演技)	0	0	1	くらしの生物	3	5	3	
	演劇(装置)	0	0	0	薬	2	8	5	
	演劇(照明)	0	0	0	短大(三島)	ビジネス教養	0	1	0
	演劇(日舞)	0	0	0	食物栄養	0	0	0	
	演劇(洋舞)	0	0	0	短大(船橋)	建築・生活デザイン	0	0	0
	演劇(企画制作)	0	0	0	ものづくり・サイエンス総合	2	0	0	
	放送	4	1	0	医	生命・物質化	0	0	0
	デザイン	2	1	1		附属看護専門	0	0	0

高1・2小論文テストに向けて

◆高1は1月17日(水)に小論文テスト①を行います。それに先立ち、小論文を書く時に簡単に取り入れられる2つのポイントを紹介します。なお、2月21日(水)には、小論文テスト②があり、講師の先生の講演を聞いた後で、同じ課題でリライト(書き直し)をします。
《本文の構成を練ろう》

指定された文字数の8~9割は満たす必要があります。だからと原稿用紙のマスを埋めるのではなく、構成を考えながら書くメリハリのある小論文になります。例を1つあげると、

- ①序論：自分の意見(=③結論)を示す
- ②本論：①で示した意見の根拠を述べ、問題の背景を考察する
- ③結論：①で示した意見を再び述べる

という「サンドイッチ型」は、文章を書くのが苦手な人でもまとめ易いと思います。段落を適宜分けることにも注意を払いましょう。

《文章表現に気をつけよう》

- ・一人称は「私」にする(「ぼく」や「自分」も不可です)
- ・話し言葉を使わない
- ×「～とゆう」→○「～という」 ×「～してる」→○「～している」
- ×「こんな」→○「このような」 ×「でも」「けど」→○「だが」「しかし」
- ×「なので」(文頭)→○「よって」「そのため」「したがって」など
- ・「!」「?」「…」などの記号を使わない

◆高2は志望理由書を書きます。まず、志望する大学・学部学科について何も知らないとい何も書くことはできません。以下では志望理由書を書くときの流れを紹介します。

- ①意志表示：入りたいという意志・理由を示す
- ②きっかけ：体験や将来の希望をもとに書く
- ③社会的意義：大学でやりたいことや将来の希望が社会でどのように役立つのかを書く
- ④全体のまとめ

以上のような流れで書くので、冬休みに大学や将来について調べてくる必要があります。自分の将来に関わることです。しっかりと取り組みましょう。

◆2学期末に配布した『ステップ小論文書き方ノート』・「自己評価シート」(高1)と『志望理由書 マスターノート』(高2)は、冬休みのホームルーム課題となっています。しっかりと取り組んで3学期始業式に担任の先生に提出してください。 【鈴木鷹・竹原】

学部	H29	H28	H27
法	51	33	52
文理	52	52	42
経済	60	56	54
商	34	46	42
芸術	10	11	6
国際関係	6	8	15
危機管理	6	3	4
スポーツ科	3	7	5
理工	78	71	65
生産工	28	26	26
工	0	0	2
医	2	1	2
歯	2	2	1
松戸歯	2	2	1
生物資源科	37	28	40
薬	2	8	5
短期大	2	1	0
合計	375	355	362

2つの表とも、今年度の数字には一般受験合格者はまだ含まれていません。また、付属推薦の追加募集3名は合格としています。今回も日大進学率の付属校1位はもらったかも…。 【田島寛】

日大チャレンジ模試

2月6日(火)に高1・2対象の日大チャレンジ特別進学模試が実施されます。テスト形式は高1・2ともにマーク式です。高1は午前中3教科で、午後は平常授業となります。高2は4教科で授業はありません。ただし、特進クラスの7時間目は実施する予定です。当日の時程・各科出題内容は次の通りです。冬休みに十分復習し、良い結果が残せるようにしましょう。



高 1		高 2	
朝礼・原票記入	8:25～ 8:45	朝礼・原票記入	8:25～ 8:45
国語 (60分)	8:55～ 9:55	国語 (60分)	8:55～ 9:55
英語 (60分)	10:10～11:10	数学 (60分)	10:10～11:10
数学 (60分)	11:25～12:25	英語 (60分)	11:25～12:25
午後平常授業		理・社 (60分)	13:05～14:05

※高2特進クラスは7限あり。

高1 各科出題内容 (国語と英語は高1・高2共通)

国語	I. 国語知識 II. 現代文 (評論) III. 現代文 (小説) IV. 古典 (古文) V. 古典 (漢文)
英語	I. 聴き取りテスト II. 語彙 (連語) III. 文法・語法 IV. 対話文 V. 語整序 VI. 語解空所補充 VII. 長文読解 (高2は長文読解英問英答)
数学	1. 数学Iと数学A (場合の数) の小問集合 2. 数と式 (数学I) 3. 不等式 (数学I) 4. 2次関数 (数学I) ※以下2問を選択 5. 確率 (数学A) 6. 2次不等式 (数学I) 7. 三角比 (数学I) 8. 整数の性質 (約数・倍数) (数学A)



高2 各科出題内容 (国語と英語は高1・高2共通)

数学	1. 数学IIの小問集合 (数学II) 2. 複素数と方程式 (数学II) 3. 図形と方程式 (数学II) 4. 三角関数 (数学II) 5. 指数・対数関数 (数学II) 6. 微分法 (数学II) 7. 数列・ベクトル (数学B)
物理	I. 物体の運動 II. 運動と力 III. 剛体 IV. 波 V. 熱 VI. 電気
化学	I. 物質の構成 II. 物質と化学反応式 III. 酸と塩基の反応 IV. 酸化還元反応 V. 固体・気体・溶液 VI. 化学反応と熱
生物	I. 生物の特徴 II. 細胞膜 III. タンパク質と酵素 IV. 代謝 V. 遺伝子とその働き VI. 体液とその循環 VII. 体内循環の維持 VIII. 免疫 IX. 植生の多様性と分布 X. 生態系とその保全
日本史	I. 原始～奈良時代 II. 平安時代 III. 院政期～鎌倉時代 IV. 文化史 (飛鳥～鎌倉時代) V. テーマ史 (I～IVの範囲内)
世界史	I. 古代オリエント II. 古代ギリシア・ローマ III. 古代アジア (中国は殷～元) IV. イスラーム世界 V. 中世ヨーロッパ VI. 2世紀頃の世界
倫・政	I. 青年期の課題と自己形成 II. ギリシア・中国思想 III. 世界の宗教 IV. 民主政治の基本原則と日本国憲法 V. 日本の政治 VI. 現代の国際政治
地理	I. 地形 (大地形・小地形・地形図) II. 気候と植生・土壌 III. 日本の自然と生活、環境問題 IV. 農林水産業 V. 資源・エネルギー・工業 VI. 第3次産業, 交通・通信, 貿易



生産工学部高大連携教育終了!

12月7日(木)から12月19日(火)にかけて、本校7階コンピュータ教室において、生産工学部進学予定者28名を対象に、吉田亘克准教授のご指導のもと高大連携教育が実施されました。

この連携教育は生産工学部の全9学科の必修科目である『情報リテラシー及び演習』を入学前に受講し、単位を履修できるものです。実はこの制度は、日大の付属全25校の中でも、生産工学部と協定を結んでいる3校でのみ受講が可能な制度です。



受講しているある生徒は次のように感想を言っていました。「自分は文系クラスからこの学部を志望しました。文系である自分が大学レベルの授業についていけるか心配なところも多少あったのですが、この高大連携教育を受講することで、大学での授業の雰囲気をつかむことが出来て良かったです。入学後もこの調子で頑張っていきたいです。」とのことでした。

大学の授業の一環なので、1コマ90分の授業を合計30コマ受講した上で、テスト・レポートもあります。参加している生徒たちはみな真面目に課題に取り組んでおり、単に知識を習得するだけでなく、大学生活をスムーズにスタートする上で貴重な経験ができたといえるでしょう。

【佐藤重】

1月の進路行事

1月13日(土) 14日(日) センター試験 (高3)

1月15日(月) センター自己採点 (高3)

1月17日(水) 小論文テスト (高1・高2)

※センター同日体験 高2 1月13日(土) 14日(日)
高1 宿題+1月20日(土)リスニング



1月13・14日(土・日)に高2特進は東進ハイスクールのセンター試験同日体験を受験します。受験票が届いたら、自分の申し込んだ受験科目・受験校舎を確認しましょう。また、普段の模試と異なり、夕方頃からの実施になりますので、時間にも注意してください。高1特進は1月20日(土)12時30分から視聴覚教室にて、説明とリスニングのみを60分程度実施し、残りの科目は宿題とします。提出期限は当日お知らせします。

1月15日(月)10時から視聴覚教室でセンター自己採点を実施します。センター受験した高3は必ず登校するように。自己採点を済ませておくと、スムーズに作業が進められます。今年度も、駿台ベネッセ・東進・河合の3社にセンターリサーチを依頼しています。1月18日(木)に結果が届く予定になっています。

1月17日(水)の小論文テストは、3,4時間目を使い、高1は基礎小論文、高2は講演会(アリーナ)+志望理由書になります。2月21日(水)はリライト(同じテーマでの書き直し)となります。

2月4日(日)高1・2特進クラスは全統記述模試を実施します。受験票は3学期に配布しますが、全員校外での受験となります。実施要項で時程等を確認しておいてください。

【伊藤秀】

次回1月号は、1月29日(月)発行予定です

